

羽建収第 784 号
平成 20 年 10 月 17 日

国土交通省道路局長様

羽後町長 大江 尚 征



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付け、国道企第 37 号で依頼ありました標記の件について、
別紙のとおり回答致しますので、ご査収ください。

物や人の移動のほとんどを自動車交通に頼っている地方にとって、道路は地域の産業および経済活動や通勤通学等の日常生活を支える最も重要な生活関連社会資本であり、地域の活性化と豊かで安心して暮らせる地域社会の実現には、優先的に整備されるべきものであります。

本町では、道路整備に対する住民の要望は強いものの、整備が立ち遅れている状況にあり、雪国における生活の安定確保と地域振興を図るため、救急医療や災害対策対応及び冬期の道路交通対策などが緊急の課題となっています。

このため、本町及び周辺地域においては骨格道路網の整備と県道、市町村道に至る体系的なネットワークの形成が不可欠であり、今後も道路整備を進めることが最重要課題であります。

②－１ 地域の現状と抱える課題

秋田県 羽後町

○ 現状

道路は、日常生活や経済活動など社会生活全体を支え、地域間の交流と連携を生み出す重要な基盤です。本町は国道をはじめ主要地方道、600 路線余りの町道と農道で路線網を形成していますが、生活行動や産業活動の飛躍的な広域化が進み、人的、物的移動手段としての車への依存度は高くなる一方であり、移動ルートとしての道路の重要性、安全性がさらに強く求められています。

○課題

交通量の増大、渋滞、危険箇所など新たな交通課題が生まれています。危険箇所の改修、歩きやすい歩道など歩行者の安全確保も課題であり、交通弱者にやさしい道路づくりを進める必要があります。

豊かな自然と広大な農地のなかで農業を基幹産業としてまちづくりをすすめてきました。しかし、近年の稲作をはじめとして農業はかつてない厳しい状況にあり、慢性的な後継者不足に加えて、少子高齢化、過疎化、更には生活圏域の広域化に伴い第1次産業から第2次、第3次産業にシフトする傾向が続き、第1次産業への就職者の減少が続く就業構造がますます進むと見られます。

このため、これまでの農業の町を基盤としながら新たな町の姿を創造する必要があると考えます。

これまでの各計画を通じて基本的な社会資本整備が充足されつつあるなかで、更に住みよい町を築きあげるため、中山間地域から都市部、近隣市町村間、中山間地域の円滑な移動、まちづくりを支援する道路整備と全ての人が安全で安心して生活できる道路整備、交通安全対策や震災時の緊急輸送の確保に努め、将来像として引き続き「人が輝き、人が活きるまちづくり」を掲げ、自然と調和のとれたまちづくりを進めます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

秋田県 羽後町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
通学路の整備	正規の歩道等の整備が困難な地域において、カラー舗装や防護柵の設置等簡易的な方法による歩行者空間の確保事業の実施。	小学校等に通う多くの児童が利用する等事故の危険性が高い通学路については、安全安心な、歩行者空間の確保。	
橋梁等の修繕・更新、維持	高度経済成長期に建設され、今後高齢化する橋梁の予防保全と、国による地方公共団体への長寿命化修繕計画の策定支援及び技術支援等の実施。	安全な通行を確保できる道路橋の延命化。	